第１５号様式

地域住民へのヒアリングシート

　「右京区まちづくり支援制度（大学・学生枠）」は，学生が地域と協働しながら，地域課題の解決等を目指す自主的な活動を後押しする制度です。

自治会・町内会，商店街，市民活動団体など，申請団体の皆様がやりたい事業に関して地域のことをよく知る団体や個人に，次のようなことをヒアリングし，事業内容の

検討に活用してください。

ヒアリングした日：　　　　年　　　　月　　　　日

ヒアリングした学生：団体名

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（複数人可）

※　以下の項目について，ヒアリングした内容等を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
| ①ヒアリングした団体や個人について |
| 　　　団体名　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ②地域の現状や抱える課題について |
| 　事業内容を検討するに当たっては，まず，実際に地域が直面している課題を把握し，その課題解決に向けて取り組んでいる人から直接話を聞き，地域課題の実態を「自分ごと」として把握・認識することが大切です。　このことを踏まえて，ヒアリングした内容を簡潔に記入してください。 |
| ③事業の方向性についての地域の認識について（目的，手段，地域にもたらす効果など） |
| 　事業の実施に当たっては，「これは地域のためになるに違いない」という思い込みだけで進めることなく，事業が目指す方向性について，地域と同じ方向を向いて進めていくことが大切です。　このことを踏まえて，ヒアリングした内容を簡潔に記入してください。 |
| ④事業実施に当たって連携・協力してもらえそうなこと |
| 　事業の実施に当たっては，地域との関わりが不可欠です。一言に「関わり」といっても，事業の企画段階からの関わりや，イベント当日の運営の協力，協力者の紹介，広報面での協力など，様々な形が考えられます。事業の目的を理解してもらったうえで，無理のない範囲で連携・協力を求め，事業の可能性を広げましょう。　このことを踏まえて，ヒアリングした結果，連携・協力を得られそうなことがあれば簡潔に記入してください。 |